

令和2年度 「国語総合」 シラバス

国語総合	単位数	3 単位	学科・学年・学級	全科・1 学年
------	-----	------	----------	---------

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	第一学習社「新編国語総合 改訂版」(国総 362)
副教材	「新編国語総合 学習課題集」(準拠ノート) / その他, 指導用 DVD-ROM 記載の補助資料など

3 学習計画, 及び評価規準など

時間数	教材	学習内容 (ねらい)	評価の観点		
			関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
4	挨拶上手 松浦弥太郎 (p. 8～p. 12)	<ul style="list-style-type: none"> ・随想の読み方を習得する。 ・挨拶の持つ意味について考える。 ・社会との関わり方について目を向けるきっかけとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 ・筆者の主張をもとに、周囲の人々との関わり方について考え、表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を把握し、全体の流れを捉えている。 ・筆者の考える挨拶の意味を読み取っている。 ・文章中の具体例の役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を正しく音読できる。 ・慣用句やカタカナ語の意味について正しく理解している。
6	指 鷺沢萌 (p. 20～p. 28)	<ul style="list-style-type: none"> ・短編小説のおもしろさを味わい、鑑賞のしかたを習得する。 ・登場人物の心情の変化を的確に読み取る。 ・小説を自分の経験に引きつけて読む態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 ・作者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 ・小説を読んで感じたことを感想文にまとめている。 ・喜一の体の内側を熱く膨れ上がらせたものについて、自己の考えを発表しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動から、人物像や人間関係を読み取っている。 ・外車と関わってからの喜一の心情の変化を読み取っている。 ・本文のタイトルの意味するところをつかんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を正しく音読できる。 ・会話だけで話を展開させていく効果を理解している。 ・片仮名混じりの表記について、効果を理解している。 ・場面展開や心情を把握し、間や抑揚に注意して朗読できる。
1	道程 高村光太郎 (p. 38～p. 39)	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・詩に込められた心情を理解する。 ・作者の人生観、自然観について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 ・作者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 ・作者の他の作品を読んで、読解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩に込められた作者の思いを読み取っている。 ・「道程」や「父」が意味するところをつかんでいる。 ・簡潔で力強い口語自由詩の文体を把握している。 ・主題を読み取り、主題を通して作者の思想、また作者の生きた時代や社会について理解を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を正しく音読でき、リズムの特徴をつかんでいる。 ・詩特有の技法を理解し、散文との違いをつかんでいる。 ・作品固有の表記・表現について、意味するところを理解している。 ・文末表現の効果について把握している。

2	小景異情 (p. 40～p. 41) 室生犀星	<ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞のしかたを習得する。 文語詩の特徴を理解する。 詩に描かれた心情を味わい、想像力や感受性を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 作者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 作者の他の作品を読んで、読解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作者はどのような状況にあるのか考えている。 作者の「ふるさと」への複雑な思いを読み取ろうとしている。 主題を読み取り、主題を通して作者の思想、また作者の生きた時代や社会について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読でき、リズムの特徴をつかんでいる。 文語の語法や語彙について、正しく理解している。 詩特有の技法を理解し、散文との違いをつかんでいる。 作品固有の表記・表現について、意味するところを理解している。
2	六月 (p. 42～p. 43) 茨木のり子	<ul style="list-style-type: none"> 詩の鑑賞のしかたを習得する。 詩に描かれた情景とそこに込められた思いを理解する。 現代の社会に対する作者の考え方を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 作者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 作者の他の作品を読んで、読解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「美しい」という言葉に込められた意味をつかんでいる。 連ごとの情景の意味するものを把握している。 作者の理想としている世界はどのようなものか考えている。 「六月」というタイトルの意味するところをつかんでいる。 主題を読み取り、主題を通して作者の思想、また作者の生きた時代や社会について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読でき、リズムの特徴をつかんでいる。 詩特有の技法を理解し、散文との違いをつかんでいる。 作品固有の表記・表現について、意味するところを理解している。
5	言葉の海のおノマトペ (p. 49～p. 55) 清水由美	<ul style="list-style-type: none"> 論理的要素を持つ随想を的確に読解する。 日本語の表現力・おもしろさに関心を持つ。 おノマトペを検証し、自身の表現力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 本文中の例を参考にして、対応するおノマトペを使って短文を作っている。 日本語の特徴やおもしろさに関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章構成を把握し、全体の流れを捉えている。 おノマトペが言語記号の恣意性の例外である理由を理解している。 おノマトペの日本語なりの模写の法則について整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読できる。 特徴ある文体を抜き出し、それらの表現の効果を理解している。 比喩表現などの表現の効果について理解している。
6	数の不思議に魅せられて (p. 63～p. 69) 小川洋子	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 数と比較したとき見えてくる人間の姿を通して、さまざまな観点から人間を見つめる姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 筆者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 随想を読んで感じたことを発表しようとしている。 小説や映画の『博士の愛した数式』を鑑賞して、読解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章構成を把握し、全体の流れを捉えている。 『博士の愛した数式』の中で、数が果たしている役割を把握している。 筆者の数・人間に対する考え方を整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読できる。 数字を擬人化した表現の効果を理解している。

8	羅生門 芥川龍之介 (p. 70～p. 82)	<ul style="list-style-type: none"> 近代の代表的な小説を読んで、読解力を養う。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることを理解する。 感想文を書いて作品鑑賞を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 作者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 作者の他の作品を読んで、読解を深めている。 小説を読んで感じたことを感想文にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小説の舞台となっている時代や状況について理解している。 下人の人物像について把握している。 下人の行動と心情の変化を、時間に沿って理解している。 下人の考えが、老婆の話によってどのように変化したかをつかんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読できる。 比喩表現などの表現の効果について理解している。 結びの文の改稿や、『今昔物語集』の原典との違いについて説明を聞き、その効果を理解している。
6	大切な言葉 (p. 106～p. 109)	<ul style="list-style-type: none"> 短歌の鑑賞のしかたを習得する。 近現代の短歌における代表的な作品を読み味わい、鑑賞文を書く。 日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。 短歌の特徴について、興味・関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 それぞれの歌人について調べたり、知っていることを発表したりしている。 好きな短歌を一つ選び、思い浮かぶ場面やイメージを二百字程度の文章に書いている。 自分でも短歌を作ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの短歌について、扱っている題材、表現のしかた、テーマの特色に留意して鑑賞している。 相聞歌や挽歌の意義を理解している。 それぞれの短歌の主題や作者の心情を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全短歌を正しく音読できる。 文語文法を正しく理解し、短歌特有の修辞も把握している。 啄木の短歌の三行書きの視覚的効果について理解している。 短歌の韻律をつかんでいる。
6	ほねとたね 川上弘美 (p. 125～p. 133)	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説の読解のしかたを習得する。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 現代小説に触れ、小説を自分に引きつけながら読む姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 作者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 作者の他の作品を呼んで、読解を深めている。 小説を読んで感じたことを発表しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動から、人物像や人間関係を読み取っている。 千晶の心情の変化を整理している。 「絞りきれないぞうきんの気分」が意味するものを読み取っている。 本文のタイトルの意味するところをつかんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読できる。 読点を多用する文体の効果について理解している。 擬態語・擬音語を多用する表現の効果について理解している。 場面展開や心情を把握し、間や抑揚に注意して朗読できる。
5	イースター島になぜ森がないのか 鷺谷いづみ (p. 141～p. 147)	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読解方法を身につける。 生態系や自然破壊について認識を深める。 人類の存続という問題を自分の問題として考える姿勢を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 イースター島について調べたり、知っていることを発表したりしている。 自然保護に対して問題意識を持ち、積極的な提案をしたり日常生活に生かしたりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開の型に注意しながら、筆者の主張や問題の捉え方を理解している。 原因と結果の事実関係をわかりやすく整理し、筆者の論理展開を把握している。 イースター島の歴史から筆者が問題としている論点を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全文を正しく音読できる。 論理的な文章展開の型を理解している。 難語句や慣用的な語句の意味を正しく理解している。

時間数	教材	学習内容（ねらい）	評価の観点			
			関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	知識・理解
4	1 資料に基づいて説明する (p. 170～p. 171)	<ul style="list-style-type: none"> 資料を口頭で説明する際の留意点を理解し、実際に説明をする。 相手に必要な情報が正確に伝わるよう配慮することの重要性に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き手に正確に伝えるため、十分準備をしている。 他の人の説明を聞いて、適切な説明になっているか評価しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を聞き手に正確に伝えるために、わかりやすい言葉で述べている。 他の人の説明を的確に聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明の手助けとなる資料を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を口頭で説明する際の留意点を理解している。
4	2 スピーチをする (p. 172～p. 173)	<ul style="list-style-type: none"> スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解し、実際にスピーチをする。 スピーチの意義や、スピーチによる交流の楽しみを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた話題を選んでスピーチをしている。 自分の考えをわかりやすく伝えるため、十分準備をしている。 落ち着いた態度でスピーチを行っている。 他の人のスピーチ内容を的確に捉え、評価しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手にわかりやすいように、自分の考えを人前で述べている。 他の人のスピーチ内容を的確に聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の人のスピーチを聞いて、よかった点や改善点をまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解している。
4	5 手紙の書き方 (p. 178～p. 179)	<ul style="list-style-type: none"> 手紙の価値と必要性を理解し、実際に手紙を書く。 手紙の形式を理解し、形式をふまえた手紙を書く技術を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 形式をふまえた手紙を書くことに対して関心を持っている。 形式をふまえたうえで、自分らしさを表現しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 形式をふまえて手紙を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 手紙の価値と必要性を理解している。 手紙の形式を理解している。
4	6 話し合いをする (p. 180～p. 181)	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのしかたや留意点を理解し、実際に話し合いをする。 話し合いを通して、問題の解決を図ろうとする姿勢を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を整理して話し合いに参加している。 円滑に話し合いができるよう、進行に協力しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立場を明確にして意見を述べている。 参加者それぞれの考え方を認めて、結論に到達している。 	<ul style="list-style-type: none"> 発言の要旨やポイントをメモしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのしかたや留意点を理解している。

3	古文の学習 (p. 190～p. 191)	<ul style="list-style-type: none"> 古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 伝統的な言語文化への興味・関心を広げ、古典を尊重し継承していく態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 声に出して本文を読んでいる。 今後の古文学習に意義を見出している。 我が国の伝統的な言語文化に興味・関心を示し、古典の伝承を担う自覚を新たにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 古典とはどのようなものを理解している。 古典を読む楽しみを理解しようとしている。 仮名遣い、語彙、文法などの違いに注意して古文を学習していくことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中にあらわれた作品名、人名について、参照ページにあたるなどして確認している。
3	鳩と蟻のこと (p. 192～p. 193)	<ul style="list-style-type: none"> 古文を声に出して読み味わい、その調べに親しむ。 歴史的仮名遣いを理解する。 文語と口語の違いを理解する。 古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 範読を参考に、声に出して本文を読んでいる。 古文に特有の語の意味を古語辞典で調べている。 『伊曾保物語』について調べたり、知っていることを発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 口語訳を参考に、内容を展開に即して理解している。 説話の内容のおもしろさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの特徴とその読み方について理解し、本文を正しく音読している。 古文に特有の語や文法があることについて認識ができている。 古語辞典の使い方を理解している。
5	兎のそら寝 (p. 200～p. 201)	<ul style="list-style-type: none"> 古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 既習の知識をもとに、部分的な口語訳ができるようにする。 用言の活用について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 声に出して本文を読んでいる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 平易な説話に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 話のおもしろさについて積極的に話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容を展開に即して理解している。 主人公の行動と心情を読み取っている。 独力で部分的に口語訳している。 説話の内容のおもしろさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を正しく音読できる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 指示された語の終止形と活用の種類を調べている。
5	伊勢物語 (p. 208～p. 209)	<ul style="list-style-type: none"> 歌物語を読んで、古文に親しむ。 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 歌物語における和歌の役割を理解する。 助動詞について理解し、読解に生かす。 係り結びの知識を確認する。 和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 声に出して本文を読んでいる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 歌物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容を展開に即して理解している。 登場人物の行動と心情を読み取っている。 本文を適切に口語訳している。 歌物語における和歌の役割を理解している。 歌物語の内容のおもしろさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を正しく音読できる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 和歌の修辞を理解している。 基本的な助動詞の意味用法について理解している。 歌物語・『伊勢物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。

2	言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える 俵万智 (p. 220～p. 223)	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に関連する近代以降の文章を読んで、我が国の伝統的な言語文化に対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・和歌によまれた感情・情景を読み取り、自分のイメージと言葉で書き換える。 ・古典を現代の言葉で書き換えることで、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。 ・筆者について調べたり、知っていることを発表したりしている。 ・指示された『伊勢物語』の歌を、自分のイメージと言葉で書き換えようとしている。 ・小野小町の歌の訳文を、自分の言葉で書き換えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を展開に即して理解している。 ・小野小町の歌と直訳を読み比べて、古典の言葉と現代の言葉との関係をつかんでいる。 ・本文中の和歌と筆者の現代語訳を読み比べて、筆者が現代語訳をする際に工夫したところを整理している。 ・指示された『伊勢物語』の和歌について、感情や情景を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を正しく音読できる。 ・重要語句の意味を古語辞典で調べている。 ・和歌の修辞技巧を理解している。 ・基本的な助動詞の意味用法について理解している。
3	奥の細道 (p. 224～p. 227)	<ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文を読んで、自然・人間などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳文における俳諧の役割を理解する。 ・俳文の省筆の効果を理解する。 ・俳諧を味読し、修辞技巧を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声に出して本文を読んでいる。 ・重要語句の意味を古語辞典で調べている。 ・俳諧紀行文に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 ・人生を旅と見る作者の思想を理解しようとしている。 ・読解を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容を構成や展開に即して理解している。 ・作者の思想や感情を読み取っている。 ・本文を適切に口語訳している。 ・作者の感動が句に集約される俳文の特色を理解している。 ・文章に描かれた情景を読み味わっている。 ・俳諧紀行文の内容のおもしろさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を正しく音読できる。 ・重要語句の意味を古語辞典で調べている。 ・俳諧の修辞技巧を理解している。 ・俳文の文体の特色を理解している。 ・松尾芭蕉・『奥の細道』について、文学史上の基本的な知識を持っている。
6	漢文入門 (p. 232～p. 239)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文に親しみをもち、漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 ・訓読のきまり、書き下し文のきまりを理解する。 ・漢和辞典の引き方に慣れ、学習に役立てることができるようになる。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読・書き下し文を参考に、訓点に従って、漢文を声に出して読んでいる。 ・日常使う漢語・格言・故事成語の意味と用法とを漢和辞典を引いて調べている。 ・短い成句を暗誦しようと努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点の種類と用法・送り仮名のつけ方を理解し、訓点のついた漢文を正しく書き下し文に改めている。 ・助字・置き字・再読文字の意味・用法を理解し、正しく訓読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の特徴とその読み方について理解している。 ・返り点は日本語とは語順の違う漢文を読むためのものであることを理解している。 ・漢和辞典の使い方を理解している。 ・漢文は日本の国語と不可分の関係にあることについて認識ができています。

5	故事成語 (p. 240～p. 245)	<ul style="list-style-type: none"> 漢文訓読の基本事項を確認する。 平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語の意味・用法を漢和辞典で調べている。 範読を参考に、訓読のきまりに従って、漢文を声に出して読んでいる。 平易な漢文に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 故事成語のできた背景について理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 訓点に従って、漢文を声に出して正しく読んでいる。 訓点に従って、漢文を正しく書き下し文に改めている。 脚注を参考に、話の内容を捉えている。 話の展開・内容のおもしろさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解している。 中国の戦国時代の概要について理解している。
6	漢詩の鑑賞 (p. 246～p. 251)	<ul style="list-style-type: none"> 唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 中国の自然や、人間の心理が、詩にどのようによまれているかを考える。 漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。 詩に表現された作者の心情について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 範読を参考に、漢詩を声に出して読み、暗誦に努めている。 漢詩の押韻・対句を理解するために、積極的に漢和辞典で調べている。 地図などを活用し、詩にうたわれている情景を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩のリズムを理解し、流暢に音読している。 脚注を参考に、詩にうたわれている内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解している。 詩にうたわれた自然の特色について理解し、それに対して人が抱くイメージ・心情をつかんでいる。 詩に表現された作者の心情・主題を理解している。